

いたみの学び舎―橋本香坡と明倫堂―



橋本香坡画観音菩薩像（矢野信隆氏蔵）

展覧会名：「いたみの学び舎―橋本香坡と明倫堂―」展
 会場：市立伊丹ミュージアム 展示室5
 会期：2023年9月8日（金）―10月22日（日）
 休館日：月曜日（9月18日・10月9日は開館、翌火曜日は休館）
 開館時：開館時間：10時―18時（入館は17時半まで）
 主催：市立伊丹ミュージアム「伊丹ミュージアム運営共同事業体／伊丹市」
 料金：無料

橋本香坡は、上野国沼田（群馬県沼田市）の沼田藩士橋本紋右衛門の長男として文化六年（一八〇九）に出生します。父の大坂蔵屋敷詰とともに、十五歳の時に大坂堀川へ一家で移住し、朱子学者・篠崎小竹に師事しました。伊丹に建てられた郷学・明倫堂の初代教頭に小竹の勧めで就任し、退職するまでの二十年弱、伊丹で文化人たちと交流します。

近年発見された小西酒造萬歳蔵史料には、橋本香坡と酒造家小西氏の密な交流を示す好史料が多く含まれており、様々な新事実が明らかとなりました。本展では、香坡より小西氏に宛てた書簡を紐解きながら、幕末期における有力町人の学びの姿や蔵書家・文化人としての一面、学者への支援などのリアルな実態に迫ります。

＜関連講演会＞

「橋本香坡と小西家の蔵書」

講師：石橋知之（伊丹市都市活力部文化振興課史料調査担当）

日時：10月21日（土）14：00～15：30

場所：市立伊丹ミュージアム 1階 講座室

参加料：200円

定員：50名

申込：9月8日（金）10：00～ 電話受付開始（072-772-5959）



市立伊丹ミュージアム
 Itami City Museum
 of Art, History and Culture

問い合わせ先：市立伊丹ミュージアム（担当：新宮 由真 shingu@itami-im.jp）
 〒664-0895 伊丹市宮ノ前 2-5-20 TEL 072-772-5959 <https://itami-im.jp/>